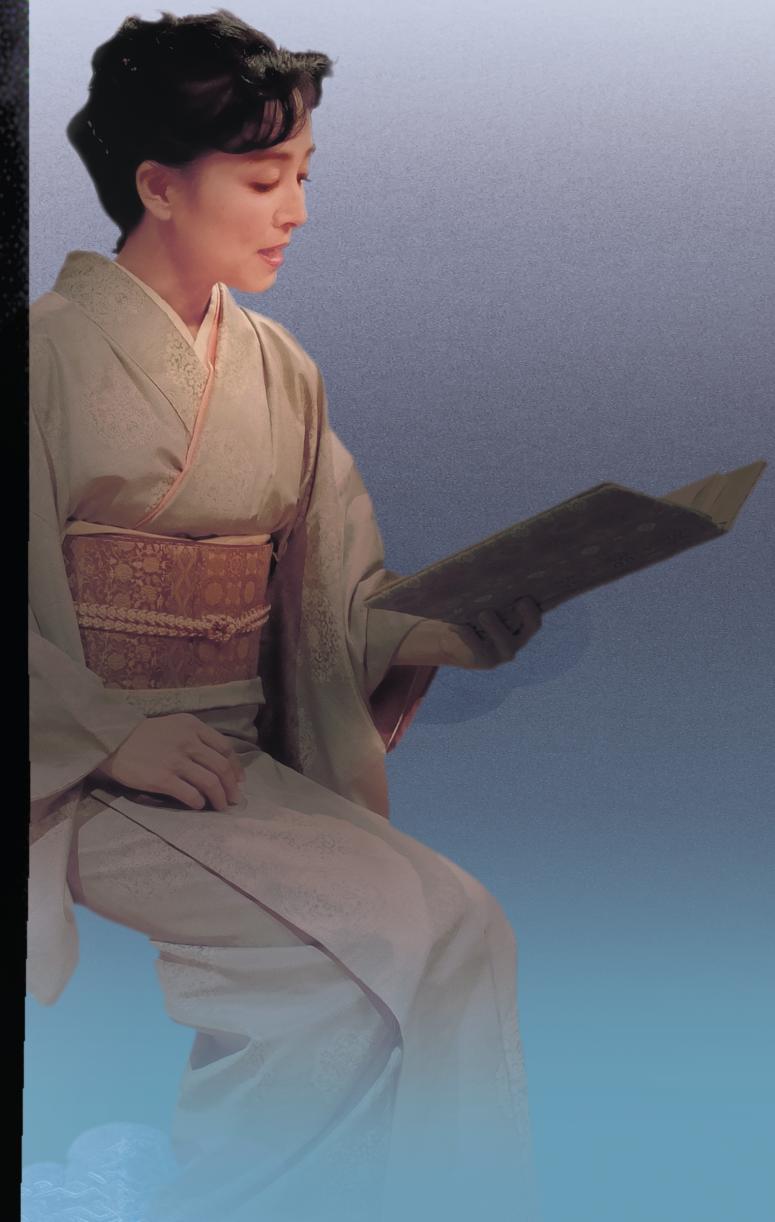


うちはらう

袖も露けき常夏に

あらし吹きそふ

秋も来にけり



源氏物語 京ことば

二〇一三年 五月二十六日（木）

【開演】午後二時～四時（開場 午後一時三十分）

【場所】ゲストハウス舞舟（JR馬堀駅 改札右へ徒歩一分）

女房語り 山下智子

第三回
ははきぎ
より
『雨夜の品定め』



もののあはれ源流への旅

肌にがじんだ柔かい白い上の衣の上に直衣だけを無造作にお召しやして紐などもお結びにならんと横にがつ

紐などもお結びにならんと
横になつといやすお姿う
灯心の光に映してるのは
ほんまにうつとりするほど結構として



もののあはれ 源流への旅

言靈の国日本 「ことば」はその土地の独特の氣
風土が育んで感性こなつて昉がれてゐるのです。

複雑で微妙に移ろいゆく京都の自然は、

女房（高位の女官）といふ立場から、配慮を見せつ
つおぼろげにことばをかさねてゆくことでだんだんと
立体化する物語世界は直接的ではありませんが
気候風土のもたらす発想の息吹そのものが「音」と
なつて響いては消えるその中に、源氏物語の底に流れ
る「もののあはれ」を汲み取つていただけることを
願います。

女房語り 山下智子

山下智子 プロフィール
京都市出身。仲代達矢主宰無名塾に学び、三島由紀夫近代能楽集「道成寺」「熊野」はじめ舞台・TVにて活動。2003年より声の表現を中心に活動。NHKラジオドラマ『レギュラー』出演と作品提供。朗読劇、映像番組・文楽人形芝居での語り、電子辞書・大修館書店国文教科書CD等での朗誦。「京ことば源氏物語」の女房語りを通して、失われゆく美しい京ことば、やまととの心を後世に伝えるべく各地で語り会をひらき国内のみならず海外でも好評。

氏は生糸の京女、府立大学で中古文学の教鞭を執りながら十五年の歳月をかけて源氏物語全五十四帖を今から百年程前の京ことばに全訳されました。失われつてゐる京のことばや感性を後世に残すために源氏物語ほど相応しいものはなかつたと、一人の京都人として誇りに思います。2009年1月永眠。



亀岡は、古くより京の奥座敷として都の文化を支えて

「語り会」を開催させて頂くことになりました。この会を通して源氏物語が織りなす「もののあはれ」の世界に興味を持つていただけた方が少しでも多くなれば幸いです。

今後は「京ことば源氏物語」全五十四帖語り会を継続します。

氏は生粋の京女。府立大学で中古文学の教鞭を執りながら十五年の歳月をかけて源氏物語全五十四帖を今から百年程前の京ごとばに全文訳されました。失われつてゐる京のことばや感性を後世に残すために源氏物語ほど相応しいものはなかつたと、一人の京都人として誇りに思います。2009年1月永眠。

舞舟 源氏物語の会 栗山初美

お申し込み・お問い合わせ

1975年京都府亀岡市生まれ。日本画家。自然児として里山を謳歌。成安造形大学卒。第4回京都日本画大賞。第2回文京第三優秀賞。山鹿東記念日経日本画展優秀賞。入選。生活の情景や経験をモチーフに制作。自然や人から日々学んでいる。

定員
三十名
(椅子席・お

開演 午後二時・四時（開場午後一時二十分）
料金 場所
ゲストハウス舞舟（JR馬堀駅 改札右へ徒歩一分
三千円（要予約）
三十名（奇数席、33座、百日好七月堂／二、三十一。）

第三帖

四帖
『雨夜の品定め』
京木

女房語り ● 山下智子

中井柳子著『現代京』(講談社刊)、物語『大修館書店狂』(中井柳子著)

0
7
7
1
-
2
4
-
2
1
6
8

0
7
7
1
·
2
4
·
2
1
6
8

こちらの問合せフォームからお申込み下さい

お問い合わせ

撮影：麥生田兵吾
(むぎゅうだ ひょうご)



一マキコ 書家 千葉秋鳳
の芸術祭実行委員会